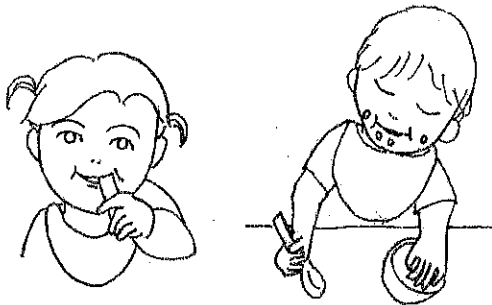


やりたい！がっばい！

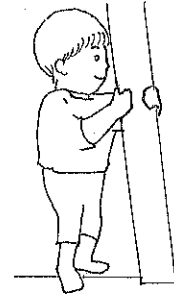
つき組 11月 平島

つき組の子ども達は歩きたい盛りです。歩く他にも・・・

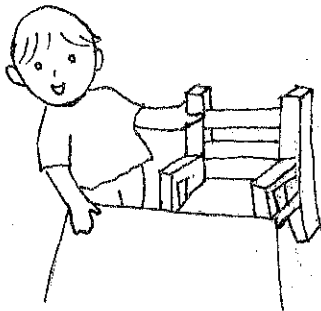
自分で食べたい！



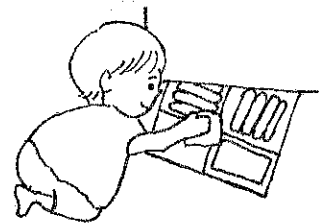
自分で目的の場所へ行きたい！



自分で立ったり座ったりしたい！



自分で出したい！選びたい！



着替えを何とか自分でしたい！



ぐずっている時

- ・オマルに自分で座りたい、
 - ・階段を自分で登りたい
 - ・自由に話せるようになりたい
- できるようになりたいことがいっぱい保育園では本当に忙しい子ども達です。

家やお出かけで機嫌が悪い時は、やりたいことができなくて退屈していることが多いものです。「自分でできた！」「自分で何度も練習できた！」この達成感の喜びを子どもは待ち望んでいます。

サインはとても小さい

「やりたい」を表す方法は、子どもの個性によって様々です。

わかり易く全身で表す子もいれば、目配せだけ、「あ」だけ、そっと触れるだけ、手をひらひらさせるだけ、「いやいや」をする子も。

できるようになりたいと切望しているのに、表現方法は小さなサインです。

「〇〇がしたいの？」「もう一回したいの？」聞いてみましょう。

主人公は子ども自身

身体が意のままに動かせるようになってくるということは、その身体の主人は誰なのか？ということ です。

- 「自主的にできる子」「自尊心がある子」
- 「運動ができる子」「チームプレーができる子」
- 「リーダーシップのある子」
- 「自分の意志を持っている子」

大人ができることは、安全を守りながら環境を整えることです。抱っこから降ろして見守りましょう。